

**2023年度 事業計画**  
(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

1. 大同生命地域研究賞の贈呈

(定款第4条第1号に該当)

(1) 第38回受賞者の決定と贈呈式の開催

本賞の推薦委員から推薦のあった候補者の中から、地域研究賞1名、地域研究奨励賞3名、地域研究特別賞1名を決定し、贈呈式を開催する。

① 日程

- ・ 推薦の締切り 4月28日(金)
- ・ 選考委員会の開催 5月31日(水)
- ・ 理事会(書面開催/受賞者の承認) 6月上旬
- ・ 贈呈式の開催 7月25日(火)

② 選考委員

井上 真 氏 (早稲田大学人間科学学術院教授、東京大学名誉教授)

臼杵 陽 氏 (日本女子大学文学部教授、日本女子大学大学院文学研究科・委員長) [選考委員会委員長]

小長谷有紀 氏 (独立行政法人日本学術振興会監事)

關 雄二 氏 (国立民族学博物館名誉教授)

※關氏は新任候補者(本理事会の第2号議案で選任・委嘱予定)

松田 素二 氏 (総合地球環境学研究所特任教授、京都大学名誉教授)

(2) 大同生命地域研究賞講演会の開催

受賞者の研究成果の披露および賞の知名度の一層の向上等を兼ねた講演会を開催する。

- ① 講演者：地域研究賞受賞者(過去の受賞者含む)
- ② 聴講者：一般公募、財団および報道関係者等
- ③ 場 所：大阪市内

## 2. 翻訳出版事業

(定款第4条第2号に該当)

### (1) アジア諸国の現代文芸作品の日本語翻訳出版 <「アジアの現代文芸」シリーズ>

#### ① 出版候補作品

- ・以下の作品を出版(電子書籍版も出版)する。
- ・書籍は、全国の大学・公立図書館等に寄贈する(2,500部)。  
電子書籍は当財団のホームページ上で無料公開する。
- ・出版作品の選定にあたっては、翻訳対象国、著作権者・翻訳者の了承等に十分留意する。

#### No.8 1 カンボジア④ 『現代カンボジア短編集2』(仮題)

- ・カンボジア作品として、4作品目。
- ・カンボジアでは経済発展に伴い、都市住民が読書に高い関心を持つようになり、若手作家が作品を発表する機会が増えている。ポル・ポト時代終焉後の人々の日々の暮らしにまつわる小さなエピソードや次の世代の想いが込められた物語等のエッセイ・短編小説を翻訳・出版。2023年は、日本・カンボジア外交関係樹立70周年の年にあたる。
- ・著者 ソック・チャンポル、バン・ソバタナほか
- ・編訳者 岡田知子、調邦行(翻訳家)  
※岡田氏のこれまでの翻訳作品 『現代カンボジア短編集』  
『地獄の一三六六日』(第43回日本翻訳出版文化賞受賞作品)  
『萎れた花・心の花輪』

#### ② 広報の充実

- ・新刊発刊時にニュース・リリースを発信する(継続実施)。
- ・これまで当該シリーズで発刊した全80作品をコンパクトに掲載したリーフレットを寄贈先等に配布する。
- ・電子書籍については、当財団ホームページ上に加え、他の電子書籍専用サイトでの無料公開を検討・実施する。

#### ③ 翻訳者意見交換会の開催

- ・当該シリーズに携わり、ご支援いただいている翻訳者の方々と意見交換する場を設け、当該シリーズの今後のあり方やアドバイス等を伺い、今後の翻訳・出版に役立てる。

## (2) アジア各国語への翻訳出版 <「ジャパニーズ・ミラーズ」シリーズ>

### ① 出版候補作品

- ・以下の作品を出版し、作品は現地の学校や図書館等に寄贈する(2,000部)。  
出版作品の選定にあたっては、出版国における出版事情、配送事情、配本先および著作権者・出版元の了承等に十分留意する。

#### No.50 トルコ語①『日本近代詩歌選集』(仮題)

- ・本シリーズでのトルコ語への翻訳は初。
- ・トルコでは文学の中心はポエム(定型詩や自由詩)という見方があり、若手読者層においても詩集が読まれている。正岡子規(俳句)、与謝野晶子(短歌)、中原中也(自由詩)等の日本近代の詩歌を翻訳・出版。
- ・編訳者 イナン・オネル(翻訳家)  
※アンカラ大学言語歴史地理学部日本語日本文学科卒業  
東京大学総合文化研究科言語情報科学専攻修士課程修了(国費)  
日本とトルコの現代詩の翻訳を多数手掛けている。

### ② トルコ・シリア地震の被災者への支援

- ・当該作品のトルコへの寄贈にあたり、従来配布先に加え、被災地への追加配布を念頭に、配布部数を増刷する。
- ・上記増刷に加え、当財団の活動趣旨に沿った文化・教育面でのトルコへの支援を検討・実施する。
- ・2023年は、トルコ共和国建国100周年にあたる。

## 3. 教育支援事業

(定款第4条第4号に該当)

- ・勉学環境に恵まれない東南アジアの生徒のために、ラオス、カンボジア、ミャンマーの3か国の学校に図書・教材・文房具などの支援を実施する。
- ・ミャンマーについては、現地情勢等から、過年度に支援を行えなかったことを踏まえ、本年度は、支援額を増額し、実施する。

以上